

第3回久留米市城島保健福祉センター指定管理者候補者選定委員会 会議録

日 時：令和6年10月11日（火） 15時30分～16時40分

場 所：久留米市役所303会議室

出席委員：右田委員、矢野委員、堤委員、宮崎委員、森委員、和田委員

欠席委員：なし

1 開会

2 面接審査の実施について

事務局より、面接審査のスケジュール、注意事項等を説明

【委員】 応募は1団体なので、「この団体が最低基準点を満たしているか」を判断するというだけでよいか。

【事務局】 はい。

3 面接審査（プレゼンテーション、質疑）

<九州ビルサービス・シンコースポーツグループ>

※プレゼンテーション後、質疑応答

【委員】 応募動機と貴団体の強みを教えて欲しい。

【団体】 10年間指定管理者として管理してきた深い愛情をベースに、従業員・地域の皆様との繋がりを大事にしていきたいという思いで応募した。強みは、共同体として施設運営をともに行ってきた、お互いを十分に理解している。施設管理運営に対して真摯に向き合ってきたところが強みと考える。企業として、スポーツ施設だけではなく、保健福祉センターという管理運営の実績も持ち合わせている。スポーツと健康推進は類似しているところがあるので、ノウハウを生かし、若年世代の利用を増やすことなどに還元したい。

【委員】 平等と公平、合理的な配慮についてどう考えるか。

【団体】 申込などを先着順とし、FAX やメールでの申し込みも受け付けている。合理的な配慮については、一人ひとり事情が異なるので、本人ができる範囲や施設側が対応できる範囲などコミュニケーションを取り確認し対応している。

【委員】 利用者数はコロナ前の水準まで戻ってない部分はあるが、利用者増に向けた取り組み、どのようなことに重点を置かれるか教えて欲しい。

【団体】 トレーニングマシンの新規入替、マッサージチェア購入、企画事業や自主事業の新規教室を計画し、これまで施設に来館されていない方も呼び込みたい。高齢利用者のコロナ後の回復率は、本施設に限らず、弊社管理の施設でも8割・7割程度。注目しているのは、子育て世代や働く方のリフレッシュなども施設の目的にかなうので、子育て世代や多世代の交流などを行って、活気を持たせ

たい。

- 【委員】 利用者数などの目標はコロナ前の目標から下がっているが。
- 【団体】 前回の提案は5年間で10万人、今回の提案は8万人としている。消極的ではあるが、コロナ前の水準までは戻らないのではと想定している。
- 【委員】 どういう取り組みで働く世代を取り組もうと考えているか。
- 【団体】 企画事業や自主事業の教室数は、弊社管理の他施設に比べてもかなり多い。運動教室の利用や、トレーニング室、プールの個人利用が多い。子供向けの教室も人気で、多世代の利用者の獲得ができています。
- 【委員】 ニーズ調査はしているのか。
- 【団体】 インストラクターや利用者、教室終わりにコミュニケーションを取り、教室に対する利用者のニーズなどを聞いている。
- 【委員】 雇用について、市内住民を雇用するとあったが、どんな人を採用するのか（採用基準）。また、急な欠勤などへの対応は。
- 【団体】 採用については、コミュニケーションを円滑に取れる人が大前提。高齢者や子供がいる世代の方が多施設になるので、いろいろな世代とのコミュニケーションや、やりとりが苦でない方。市内雇用率が低いのは、土地がら佐賀の方がいるため、市内が下がっている。急な欠勤等については、周辺の施設などと連携をとりながら、人員の補充などを行う。
- 【委員】 施設によって方針を変えているのか。城島ではここをというところはあるか。
- 【団体】 地域によってニーズや人気の教室などは異なる。また、施設の設置目的が異なれば、提案する方針も異なる。例えば都市圏では「地域に寄り添う」ことは大きく謳わない、地方になればなるほど、「施設を中心に活性化」ということを謳うなどの地域性もある。
- 城島げんきかんとしては、高齢の方が中心の施設ではあるが、若い世代や子育て世代、働く世代が交流できることをテーマにしていきたい。

<面接終了、団体退出>

4 採点

5 集計結果の報告

事務局にて集計結果を報告。

6 候補者（案）の選定

- 【委員長】 評点の集計結果に基づく選定結果の確認を行い、選定委員会として、《九州ビルサービス・シンコースポーツグループ》を、優先交渉権者と決定する。
- <<全員了承>>

7 閉会